平成24年度

病害虫情報(第３号)６月予報

平 成 ２ ４ 年 ５ 月 ３ １ 日
神奈川県農業技術センター所長

【 内 容 】

Ⅰ ６月の主な病害虫の防除要否、発生・防除時期、防除の要点 …… 1
Ⅱ 防除情報 ナシヒメシンクイの発生予想 …… 7
Ⅲ ６月の病害虫発生予報の内容とその根拠 …… 8
Ⅳ ６月の気象予報及び気象の経過……11

農薬を使用する際は、使用基準を遵守するとともに飛散防止に努めましょう。
掲載農薬は一般的な場合を想定し、防除効果を優先して選定しています。
収穫期の作物が近接している場合など、個別に残留基準値の設定状況を考慮する必要がある場合は関係機関にご相談ください。

病 害 虫 防 除 部　　ＴＥＬ　０４６３－５８－０３３３
テレフォンサービス　　ＴＥＬ　０４６３－５８－６６１２
インターネット http://www.agri-kanagawa.jp/nosoken/boujo.asp

＊農薬に関する情報は、平成24年5月31日までの農薬登録情報に基づいて記載しています。

Ⅰ ６月の主な病害虫の防除要否、発生・防除時期、防除の要点

※［防除要否］◎:追加防除が必要 ○:通常防除 △:必要に応じて防除 ×:防除の必要なし
［発生・防除時期］ ━━━ 発生時期 ～～～～ 多発時期 ……感染時期 ←──→ 防除適期

作物名	病害虫名	発生予想(平年比)	防除要否	発生・防除時期 6月上	6月中	6月下	7月上	今月の防除	防除のポイント
イネ	田植時期	早		《田植》					
イネ	イネミズゾウムシ	やや少	○	━━━産卵━━━		幼虫━	━土まゆ	(育苗箱施薬) グランドオンコル粒剤 ［移植3日前～移植当日,1回］ 50g/箱 プリンス粒剤 ［は種時（覆土前）～移植当日,1回］ 50g/箱 アドマイヤーＣＲ箱粒剤 ［は種時(覆土前)～移植当日,1回］ イネミズゾウムシ、ウンカ類：50g/箱 アドマイヤー箱粒剤[移植2日前～移植当日,1回] イネミズゾウムシ、ウンカ類：50～80g/箱 等	・ツマグロヨコバイ対策には、グランドオンコル、アドマイヤーCRもしくはアドマイヤーを使用する。 ・イネツトムシ対策には、グランドオンコルかプリンスを使用する。 ・白葉枯病の発生が懸念されるほ場では、Dr.オリゼプリンス粒剤６(箱施薬[緑化期～移植当日,1回],50g/箱)を使用するとよい。
イネ	ヒメトビウンカ（縞葉枯病）	やや多	○	━━成虫	飛来━━	━━━━	━━━━		
イネ	ニカメイチュウ	―	△	(発蛾最盛期)	━━	━━━━	━━━━		
カンキツ	生育	やや遅		《幼果期》				＜生育調査：足柄地区事務所根府川分室・普通温州＞	
カンキツ	黒点病	やや少	○	感染時期				(予)ジマンダイセン又はペンコゼブ水和剤 みかん：[30日,4回] 400～800倍 みかんを除くかんきつ：[90日,4回]600～800倍 等	・散布後に積算降水量が250㎜を超えたら、再散布を行う。 ・樹上枯枝を剪除し、適切に処分する。
カンキツ	そうか病	―	○	～～～～	～～～～	～～～～	━━━	(予・治)マネージＤＦ [30日,3回] 4,000～6,000倍 (予・治)ベルクートフロアブル みかん[前日,3回] みかんを除くかんきつ:[前日,2回] 1,000倍 等	

病害虫情報 (H24・No.3) ……神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想(平年比)	防除要否	発生・防除時期 6月 上	6月 中	6月 下	7月 上	今月の防除	防除のポイント
カンキツ	かいよう病(中晩柑類)	並	○	～～～～ ←→	～～～～ →→	～～～～ ←→	～～～～ →→	(予)コサイドＤＦ[－,－]2,000倍 + クレフノン200倍 (予)ＩＣボルドー４１２ [－,－] 50倍 等	
	ミカンハダニ	並	○	～～～～ ←→ 多発生園	～～～～ →← 少・中発生園	～～～～ →→	～～～～	マシン油乳剤９７%，９８% 等	・マシン油乳剤は商品によって使用基準が異なるので、ラベルの記載に従うこと。 ・ハダニ多発園では、早めに散布を行う。 ・ハダニの少～中発生園では、カイガラムシ防除を兼ねて6月中旬に散布する。
	ミカンサビダニ	―	○	―― ←→	―― →→	―― →→	～～～～ →→	ハチハチフロアブル[前日,2回]2,000～3,000倍 コテツフロアブル[前日,2回]4,000～6,000倍 等	・ハチハチは眼に対して刺激性があるので、薬剤が眼に入らないように注意する。 ・ハチハチ(1,000～2,000倍)、コテツはチャノキイロアザミウマにも適用あり。
ナシ	生育	やや早		≪ 果実肥大期 ≫				＜生育調査：果樹花き研究部・豊水＞	
	黒星病	並	○	―― ←→	―― →→	―― →→	―― →→	(予)キノンドーフロアブル[3日,9回] 1,000倍 (予・治)アンビルフロアブル[7日,3回]1,000～2,000倍 (予・治)ベルクートフロアブル [14日,5回] 1,500倍 等	・発生園では治療効果の高いアンビルを散布する。ただし同系統(DMI)の剤を連用すると耐性菌が出現しやすくなるので注意。 ・アンビルは赤星病にも適用あり。
	アブラムシ類	やや少	○	～～～～ ←→	～～～～ →→	～～～～ →→	～～～～ →→	アルバリン又はスタークル顆粒水溶剤 [前日,3回] 2,000倍 アクタラ顆粒水溶剤 [前日,3回] 3,000倍 等	・アルバリン又はスタークルはコナカイガラムシ類にも適用あり。 ・アクタラ(2,000倍)はカメムシ類、コナカイガラムシ類にも適用あり。
	シンクイムシ類(発生時期)	(並)	○	――	―― →→	―― →→	――	アルバリン又はスタークル顆粒水溶剤 [前日,3回] 2,000倍 アクタラ顆粒水溶剤 [前日,3回] 2,000倍 スプラサイド水和剤 有袋栽培[7日,3回] 無袋栽培[45日,2回] 1,500～2,000倍 等	・スプラサイドはクワコナカイガラムシ・アブラムシ類、カメムシ類 (1,500倍) にも適用あり。 ・防除適期については、防除情報(7ページ)参照。
	カメムシ類	多	◎	―― ←発	―― 生適	―― 時防	―― 除→	アルバリン又はスタークル顆粒水溶剤 [前日,3回] 2,000倍 テルスターフロアブル[前日,2回] 3,000倍 等	・園内をよく見回り、発生を確認したら防除する。 ・黄色防蛾灯(チャバネアオカメムシ対応)があれば早めに点灯する。 ・テルスターはシンクイムシ類、アブラムシ類にも適用あり。
	ハダニ類	やや少	○	――	―― →→	―― →→	――	ダニサラバフロアブル [前日,2回]1,000～2,000倍 等	

病害虫情報 (H24・No.3) ……神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想(平年比)	防除要否	発生・防除時期 6月上	6月中	6月下	7月上	今月の防除	防除のポイント
カキ	生育	並		《幼果期》				＜生育調査：果樹花き研究部＞	
	落葉病	やや多	○	感染時期				(予)エムダイファー水和剤[45日,2回]400～650倍 (予・治)スコア顆粒水和剤 [前日,3回] 3,000倍 等	・葉裏に十分かかるように散布する。 ・スコアは、うどんこ病にも適用あり。
	カキクダアザミウマ	やや少	○	加害期				トクチオン水和剤 [75日,2回] 800倍 ダントツ水溶剤 [7日,3回] 2,000～4,000倍 コテツフロアブル [14日,2回] カキクダアザミウマ：2,000倍 カキノヘタムシガ：2,000～4,000倍 等	・トクチオン、ダントツはフジコナカイガラムシにも適用あり。 ・トクチオン、コテツ(2,000倍)はイラガ類にも適用あり。
	カキノヘタムシガ	―	○	第一世代幼虫					・防除適期は平年並(6月上中旬)と予想される。詳しい防除適期は、テレフォンサービスや当所ホームページを参照のこと。
キウイフルーツ	かいよう病	やや少	○	～～～～	～～～～	～～～～	――	(予・治)アグレプト水和剤 [90日,4回] 1,000倍 (予・治)アグリマイシン－１００ [落花期まで,3回] 1,000倍 等	・ストレプトマイシンの使用回数の総和は4回以内(但し、樹幹注入は1回以内)。また、両剤は花腐細菌病にも適用あり。 ・発生の著しい樹は、収穫後から落葉前まで(11月)にアグレプト液剤等の樹幹注入をする。
	果実軟腐病	―	○	――	――	――	――	(予・治)トップジンM水和剤 [前日,5回] 1,000倍 (予・治)ベンレート水和剤 [7日,5回] 2,000倍 等	
	カメムシ類	多	◎	――	――	――	――	アディオン乳剤 [7日,5回] 2,000倍 アドマイヤーフロアブル [前日,2回] 2,000倍 等	・園内をよく見回り、発生を確認したら防除する。
チャ	生育	やや遅			≪二番茶萌芽期≫			＜生育調査：北相地区事務所研究課・やぶきた＞	
	もち病	やや多	○	～～～～	――	――	――	(予・治)オンリーワンフロアブル [7日,1回] 2,000～3,000倍 等	・病菌は新芽葉の時に侵入するので、萌芽期・開葉期に散布する。
	炭疽病	―		――	――	――	――		
	カンザワハダニ	並	○	～～～～	～～～～	～～～～	――	コテツフロアブル [7日,2回] チャノキイロアザミウマ、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノコカクモンハマキ、カンザワハダニ：2,000倍 アルバリン又はスタークル顆粒水溶剤 [7日,2回] チャノキイロアザミウマ、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノホソガ：2,000倍 等	・アルバリン又はスタークルはツマグロアオカスミカメにも適用あり。
	チャノミドリヒメヨコバイ	やや多	○	――	――	～～～～	～～～～		
	チャノキイロアザミウマ	やや多	○	――	――	～～～～	～～～～		
	ハマキムシ類	やや多	○	――	――	～～～～	～～～～		
	チャノホソガ	やや多	○	――	～～～～	～～～～	――		
	ツマグロアオカスミカメ	やや少	○	――	～～～～	～～～～	――	キラップフロアブル [7日,1回] 2,000倍 等	・キラップはチャノキイロアザミウマ、チャノホソガにも適用あり。

病害虫情報 (H24・No.3) ……神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想(平年比)	防除要否	発生・防除時期 6月 上	6月 中	6月 下	7月 上	今月の防除	防除のポイント
露地トマト	疫病 葉かび病	－ －	○ ○	――― ←――→	～～～～ ←――→	～～～～ ←――→	～～～～ ←――→	(予)ダコニール１０００ ［前日，4回］ 1,000倍 (予)Ｚボルドー ［－，－］ 疫病：400～600倍 (予･治)ベルクートフロアブル ［前日，3回］ 葉かび病：2,000倍 等	・疫病は気温が20℃前後であると病原菌は活発に活動し始め、降雨が続くと激発しやすい。 ・ダコニール、ベルクートはうどんこ病、灰色かび病、すすかび病にも適用あり。
	タバコ コナジラミ (TYLCV)	少	○	――――	――――	――――	～～～～	ハチハチ乳剤 ［前日，2回］ コナジラミ類、アブラムシ類、ミカンキイロアザミウマ: 1,000～2,000倍	・ハチハチはトマトサビダニ、ハモグリバエ類・うどんこ病(1,000倍)にも適用あり。 ・コロマイトはトマトサビダニ、ハモグリバエ類にも適用あり。
	オンシツ コナジラミ	少	○	～～～～	～～～～	～～～～	――――	チェス顆粒水和剤 ［前日，3回］ コナジラミ類、アブラムシ類：5,000倍	・カスケードはトマトハモグリバエ、マメハモグリバエ(2,000～4,000倍)にも適用あ
	アブラムシ類 (CMV等)	少	○	～～～～	～～～～	～～～～	――――	コロマイト乳剤 ［前日,2回］ コナジラミ類：1,500倍	
	アザミウマ類 (TSWV)	並	○	～～～～ ←――→	～～～～ ←――→	～～～～ ←――→	～～～～ ←――→	カスケード乳剤 ［前日，4回］ ミカンキイロアザミウマ：2,000倍 等	
	オオタバコガ	やや多	○	～～～～ ←――→	～～～～ ←――→	～～～～ ←――→	――――	プレバソンフロアブル５ ［前日，3回］ 2,000倍 カスケード乳剤 ［前日，4回］ 2,000～4,000倍 アファーム乳剤 ［前日，5回］ 2,000倍 等	・プレバソンはトマトハモグリバエ(1,000～2,000倍)にも適用あり。 ･アファームはトマトサビダニ、マメハモグリバエにも適用あり。
露地キュウリ	べと病	やや多	○	～～～～ ←――→	～～～～ ←――→	～～～～ ←――→	～～～～ ←――→	(予)ダコニール１０００ ［前日,8回］ 1,000倍 (予)ハチハチ乳剤 ［前日，2回］ 1,000倍 (予･治)ベルクートフロアブル ［前日，5回］ うどんこ病：2,000倍	・べと病は、肥料切れや成り込みによる草勢の衰えが発病を助長させる。 ・ダコニール、ベルクート、プロポーズ(1,000倍)は褐斑病にも適用あり。
	うどんこ病	並	○	～～～～ ←――→	～～～～ ←――→	～～～～ ←――→	～～～～ ←――→	(予・治)プロポーズ顆粒水和剤 ［前日，3回］ べと病：1000～1500倍、うどんこ病：1000倍 等	
	アブラムシ類 (CMV等)	やや少	○	～～～～	～～～～	～～～～	――――	ハチハチ乳剤 ［前日，2回］ 1,000～2,000倍 チェス顆粒水和剤 ［前日,3回］ アブラムシ類、コナジラミ類：5,000倍	・ハチハチはウリノメイガにも適用あり。 ・アファームはトマトハモグリバエ、ウリノメイガにも適用あり。
	タバコ コナジラミ	やや少	○	――――	――――	――――	～～～～	コロマイト乳剤 ［前日，2回］ コナジラミ類：1,500倍	・カスケード(2,000倍)はトマトハモグリバエ、ウリノメイガ、ハスモンヨトウにも適用あり。
	オンシツ コナジラミ	少	○	～～～～	～～～～	～～～～	――――	アファーム乳剤 ［前日，2回］2,000培 ミナミキイロアザミウマ：2,000倍	・コロマイトはトマトハモグリバエ(1,000倍)、ハダニ類(1,000～1,500倍)にも適用あり。
	ミナミキイロ アザミウマ (MYSV)	並	○	――――	――――	――――	～～～～	カスケード乳剤 ［前日，4回］ ミナミキイロアザミウマ：2,000～4,000倍 等	
	ミカンキイロ アザミウマ	並	○	～～～～ ←――→	～～～～ ←――→	～～～～ ←――→	～～～～ ←――→		

病害虫情報 (H24・No.3) ……神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想(平年比)	防除要否	発生・防除時期 6月 上	6月 中	6月 下	7月 上	今月の防除	防除のポイント
ナス	灰色かび病	－	○	――	――	――	――	(予)フルピカフロアブル ［前日，4回］ 2,000～3,000倍 (予・治)ベルクートフロアブル ［前日,3回］ 2,000倍 等	・発病した果実や葉は早期に取り除き、ほ場の外で適切に処分する。 ・フルピカ、ベルクートはうどんこ病にも適用あり。
	アブラムシ類 ミナミキイロ アザミウマ	少 並	○ ○	～～～～ ――	～～～～ ――	～～～～ ――	―― ～～～～	ハチハチ乳剤 ［前日，2回］ 1,000～2,000倍 チェス顆粒水和剤 ［前日，3回］ アブラムシ類：5,000倍	・ハチハチはコナジラミ類・マメハモグリバエ、チャノホコリダニ(1,000～4,000倍)にも適用あり。
	ミカンキイロ アザミウマ	並	○	～～～～ ←――→	～～～～ ←―	～～～～ ―→	～～～～ ←――→	アファーム乳剤 ［前日，2回］ アザミウマ類：2,000倍 等	・チェスはコナジラミ類にも適用あり。 ・アファームはマメハモグリバエ、ハスモンヨトウにも適用あり。
	ハダニ類	やや少	○	―― ←――→	――	――	～～～～ ←――→	コロマイト乳剤 ［前日，2回］ 1,500倍 等	・コロマイトはコナジラミ類、マメハモグリバエ、チャノホコリダニにも適用あり。
	オオタバコガ	やや多	○	～～～～ ←――→	～～～～ ←―	～～～～ ―→	―― ←――→	プレバソンフロアブル５ ［前日，2回］ 2,000倍 アファーム乳剤 ［前日，2回］ 2,000培 等	・プレバソンはトマトハモグリバエ(1,000～2,000倍)にも適用あり。
ネギ	さび病	－	○	～～～～ ←――→	～～～～	～～～～ ←――→	――	(予)ジマンダイセン水和剤 （第22345号） ［14日，3回］ 600倍 (予)ペンコゼブ水和剤 （第18852、22346、22432号） ［14日，3回］ 600倍 (予・治)アミスター２０フロアブル［3日,4回］2,000倍 等	・ネギは薬液をはじきやすいため、水溶剤や水和剤には展着剤を加用し、薬液が十分付着するように散布する。 ・ジマンダイセン、ペンコゼブ、アミスターはべと病、黒斑病にも適用あり。
	ネギアザミウマ	やや少	○	～～～～ ←――→	～～～～	～～～～ ←――→	～～～～	【生育期：株元灌注】 アルバリン 又は スタークル顆粒水溶剤 ［14日，1回］400倍，0.4L/㎡ 【生育期：株元散布】 ダントツ粒剤（露地栽培） ［21日，2回］3～6kg 【生育期：散布】 オンコルマイクロカプセル ［14日，1回］1,000～2,000倍 モスピラン水溶剤 ［7日，3回］ 2,000倍 ボタニガードＥＳ ［発生初期，－］ 500～1,000倍 等	・アルバリン、スタークル、オンコルはネギハモグリバエにも適用あり。
三浦半島地区野菜									
カボチャ	疫病	－	○	―― ←――→	――	―― ←――→	――	(予)Zボルドー粉剤ＤＬ ［－，－］ 4kg (予・治)アリエッティ水和剤 ［前日,3回］ 400～800倍 等	・薬剤散布では、地表面に接する茎や果実に薬剤が付着するように散布しなければ直接的な防除効果があがらない。

病害虫情報 (H24・No.3) ……神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想(平年比)	防除要否	発生・防除時期 6月 上	6月 中	6月 下	7月 上	今月の防除	防除のポイント
三浦半島地区野菜									
カボチャ	うどんこ病	並	○	～～～～ ←→	～～～～ ←→	～～～～ ←→	～～～～ ←→	(予)フルピカフロアブル ［前日，4回］ 2,000～3,000倍 (予)イオウフロアブル ［－，－］ 500倍 (予･治)ベルクート水和剤 ［7日，4回］ 1,000～2,000倍 (予･治)パンチョＴＦ顆粒水和剤 ［前日，2回］ 2,000倍 等	
	アブラムシ類（CMV等）	やや少	△	～～～～ ←→	～～～～	～～～～ ←→	――	モスピラン水溶剤 ［前日，2回］ 2,000～4,000倍 アドマイヤーフロアブル［前日，2回］4,000倍 等	
スイカ	つる枯病	やや多	○	―― ←→	～～～～ ←→	～～～～ ←→	～～～～ ←→	(予)ジマンダイセン又はペンコゼブ水和剤 ［7日，7回］400～600倍 (予･治)ベルクート水和剤 ［前日，4回］ 1,000倍 (予･治)ロブラール水和剤［前日，4回］ つる枯病：1,000倍 等	・不要な側枝は早めに摘除し、通風と採光を図る。 ・ベルクートはうどんこ病、菌核病にも適用あり。 ・ロブラールは菌核病にも適用あり。
	炭疽病	並	○	←→	←→	←→	←→		
	アブラムシ類（CMV等）	やや少	○	―― ←→	――	―― ←→	――	アクタラ顆粒水溶剤 ［前日，3回］ 3,000倍 ウララＤＦ ［前日，2回］ 2,000～4,000倍 等	
	アザミウマ類	やや少	○	～～～～ ←→	～～～～	～～～～ ←→	～～～～	(ミナミキイロアザミウマ) アクタラ顆粒水溶剤 ［前日，3回］ 2,000倍 アファーム乳剤［前日，3回］ 1,000～2,000倍 カスケード乳剤 ［7日，4回］ 2,000～4,000倍 等	・幼虫が、やや硬くなった葉裏の葉脈沿いに食害し、白変する。
	ハダニ類	やや少	○	―― ←→	――	―― ←→	～～～～	マイトコーネフロアブル［前日，1回］1,000倍 スターマイトフロアブル ［前日，1回］ 2,000倍 等	
メロン	つる枯病	やや多	○	―― ←→	～～～～ ←→	～～～～ ←→	～～～～ ←→	(予･治)ベルクート水和剤 ［前日，5回］ 1,000倍 (予･治)ロブラール水和剤［前日，4回］1,000倍 等	・株元の古い葉は摘除して風通しをよくする。 ・ロブラールは菌核病にも適用あり。
	べと病	－	○	―― ←→	～～～～ ←→	～～～～ ←→	～～～～ ←→	(予･治)ランマンフロアブル ［前日，4回］ 1,000～2,000倍 (予･治)ホライズンドライフロアブル ［前日，3回］ 2,500倍 等	
	うどんこ病	やや少	○	―― ←→	～～～～	～～～～ ←→	～～～～	(予･治)ベルクート水和剤 ［前日，5回］ 1,000倍 (予･治)パンチョＴＦ顆粒水和剤 ［前日，2回］ 2,000倍 等	
	アブラムシ類（CMV等）	やや少	○	―― ←→	――	―― ←→	――	アクタラ顆粒水溶剤 ［前日，3回］ 3,000倍 ウララＤＦ ［前日，2回］ 2,000～4,000倍 等	・アクタラ(2,000倍)はミナミキイロアザミウマ、トマトハモグリバエにも適用あり。 ・ウララ(2,000倍)はコナジラミ類にも適用あり。
	ハダニ類	やや少	○	―― ←→	――	―― ←→	～～～～	マイトコーネフロアブル［前日，1回］1,000倍 スターマイトフロアブル ［前日，1回］ 2,000倍 等	

インターネット　http://agri-kanagawa.jp/nosoken/boujo.asp
テレホンサービス　0463-58-6612

Ⅱ　防除情報　ナシヒメシンクイの発生予想

次世代成虫の発生ピークを把握し、適期防除を心掛けましょう！

●　フェロモントラップ調査におけるナシヒメシンクイ越冬世代成虫の発生ピークは、伊勢原市串橋が４月６半旬（平年より遅い）、小田原市西大友が４月４半旬（平年より遅い）、川崎市麻生区が４月６半旬[*1]（平年より遅い）でした。　[*1]：川崎市農業技術支援センター調査

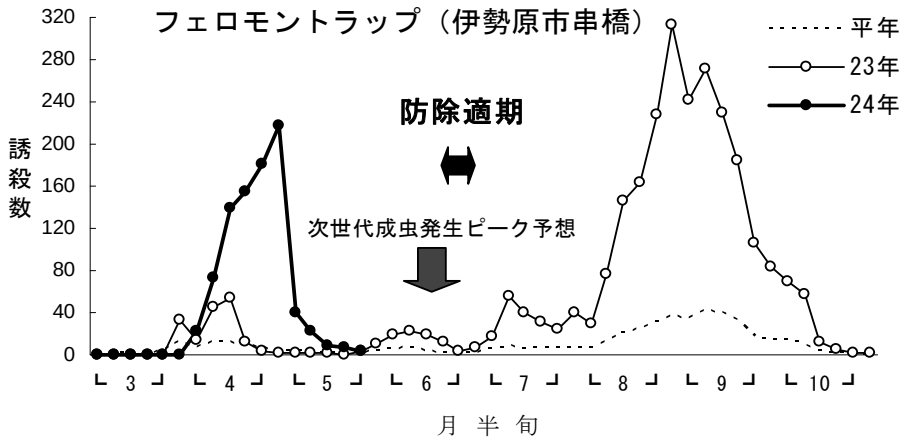
●　また、越冬世代の誘殺数は伊勢原では平年より多く、小田原では平年並となっています。

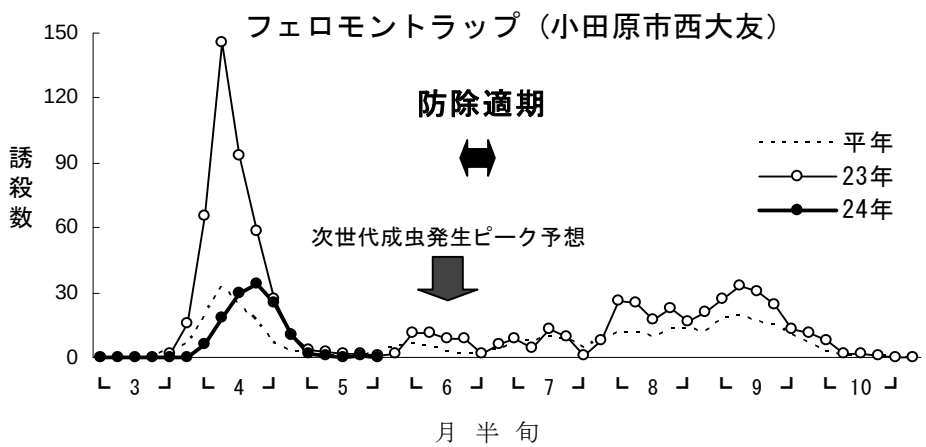
●　越冬世代の発生ピークを起点として、発育零点と有効積算温度[*2]から次世代（第１世代）成虫の発生ピークを予想すると、伊勢原が６月３半旬（アメダスデータ海老名から算出）、小田原６月３半旬（同小田原）、川崎６月３半旬（同府中）となり、伊勢原では平年並、小田原では平年よりやや遅く、川崎では平年よりやや早い発生になると予測されます。

[*2]：発育零点(11.1℃)、有効積算温度(383.7日度)、発育上限温度(28.0℃)、発育停止温度(30.0℃)

●　薬剤散布適期までの日数は、第１世代成虫では発生ピークの７～９日後という報告がありますので、**防除適期は６月４～５半旬頃と予想されます**。

●　第２世代以降の成虫発生は今後の気象状況により変化しますので、その時期の予察情報を参考にしてください。





Ⅲ　６月の病害虫発生予報の内容とその根拠

作物名 病害虫名	発生量 程度	発生量 平年比	予報の根拠
水稲 イネミズゾウムシ	少	やや少	1）予察灯への飛来は見られず、発生は平年よりやや少ない。（－） 2）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
ヒメトビウンカ （縞葉枯病）	少	やや多 （やや多）	1）越冬幼虫の密度は、平年よりやや多い。（＋） 2）予察灯への飛来は見られず、発生は平年並。（±） 3）ヒメトビウンカの保毒虫率は、0.6%と平年並である。（±） 4）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
カンキツ 黒点病	少	やや少	1）県予察ほでは、樹上枯枝量（3月調査）は平年より少なく（－）、春葉発病は平年より少ない（－）。 2）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
かいよう病 （中晩柑類）	少	並	1）4月の巡回調査では、越冬病斑が平年並。（±） 2）県予察ほでは、春葉発病は平年並。（±） 3）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
ミカンハダニ	少	並	1）巡回調査では、発生は平年よりやや少ない。（－） 2）県予察ほでは、発生は平年よりやや多い。（＋） 3）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
ナシ 黒星病	少	並	1）巡回調査では、徒長枝での発病は見られず発生は平年並。（±） 2）県予察ほでは、発病は見られず発生は平年並。（±） 3）気温、降水量とも平年並の予報。（±）

作物名 病害虫名	発生量 程度	発生量 平年比	予報の根拠
ナシ アブラムシ類	中	やや少	1）巡回調査では、発生は平年より少ない。（－） 2）県予察ほでは、寄生は見られず発生は平年より少ない。（－） 3）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
ハダニ類	少	やや少	1）巡回調査では、寄生は見られず発生は平年よりやや少ない。（－） 2）県予察ほでは、寄生は見られず発生は平年並。（±） 3）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
シンクイムシ類 （発生時期）	－	（並）	1）フェロモントラップ調査では、越冬世代成虫の発生ピークは伊勢原、小田原とも平年より遅かった。 2）発育零点と有効積算温度から、次世代の成虫発生ピークは伊勢原では6月3半旬で平年並、小田原では6月3半旬で平年よりやや遅くなると予想される。
カキ 落葉病	少	やや多	1）昨年10月の発病は平年よりやや多く、越冬菌量も平年よりやや多いと予想される。（＋） 2）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
カキクダアザミウマ	少	やや少	1）巡回調査では、被害は見られず発生は平年より少ない。（－） 2）県予察ほでは、寄生は見られず発生は平年並。（±） 3）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
キウイフルーツ かいよう病	少	やや少	1）巡回調査では、発生は平年よりやや少ない。（－） 2）気温、降水量とも平年並の予報。（±）

病害虫情報（H24・No. 3）……神奈川県農業技術センター

作物名 病害虫名	発生量 程度	発生量 平年比	予報の根拠
果樹全般 カメムシ類	中	多	1）チャバネアオカメムシ成虫の越冬数は平年より多く、ツヤアオカメムシの越冬数は過去6年間の平均値より多い。（＋） 2）ミカン花のビーティング調査では、チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシの捕獲数は平年より多い。（＋） 3）予察灯への誘殺数は、平年並（±）。 4）フェロモントラップへの誘殺数は、平年より多い。（＋） 5）県予察ほ(根府川)の予察灯及びフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりやや多い。（＋） 6）カメムシの餌となるスギ・ヒノキの球果は不作と予想されるため、早期にスギ・ヒノキから離脱する可能性は高い。（＋）
チャ もち病	少	やや多	1）巡回調査では、発生は平年よりやや多い。（＋） 2）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
カンザワハダニ	少	並	1）巡回調査では、発生は平年並。（±） 2）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
チャノミドリヒメヨコバイ	少	やや多	1）巡回調査では、発生は平年並。（±） 2）叩き出し調査では、落下虫数は平年より多い。（＋） 3）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
チャノキイロアザミウマ	少	やや多	1）巡回調査では、発生は平年よりやや少ない。（－） 2）叩き出し調査では、落下虫数は平年より多い。（＋） 3）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
ツマグロアオカスミカメ	少	やや少	1）巡回調査では、発生は平年より少ない。（－） 2）気温、降水量とも平年並の予報。（±）

作物名 病害虫名	発生量 程度	発生量 平年比	予報の根拠
チャ ハマキムシ類	少	やや多	1）巡回調査では、発生は平年より多い。（＋） 2）予察灯及びフェロモントラップ（山北）の誘殺数は、平年より少ない。（－） 3）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
チャノホソガ	少	やや多	1）巡回調査では、発生は平年よりやや多い。（＋） 2）予察灯及びフェロモントラップ（山北）の誘殺数は、平年並。（±） 3）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
露地トマト アザミウマ類	少	並	1）巡回調査では、被害果は見られず平年並。（±） 2）青色粘着トラップ調査では、ミカンキイロアザミウマ、ヒラズハナアザミウマともに平年並。（±） 3）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
露地キュウリ べと病	少	やや多	1）巡回調査では、発生が平年よりやや多い。（＋） 2）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
うどんこ病	少	並	1）巡回調査では、発生が平年並。（±） 2）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
ミナミキイロアザミウマ ミカンキイロアザミウマ	少 少	並 並	1）巡回調査では、ミナミキイロアザミウマは発生が見られず平年よりやや少なく（－）、ミカンキイロアザミウマは発生が平年並（±）。 2）青色粘着トラップ調査では、ミナミキイロアザミウマ、ミカンキイロアザミウマともに平年並。（±） 3）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
ナス ハダニ類	少	やや少	1）巡回調査では、発生が平年より少ない。（－） 2）気温、降水量とも平年並の予報。（±）

病害虫情報（H24・No. 3）……神奈川県農業技術センター

作物名 病害虫名	発生量 程度	発生量 平年比	予報の根拠
ナス			
ミナミキイロアザミウマ	少	並	1）巡回調査では、両種とも発生が見られず、ミナミキイロアザミウマは平年並（±）、ミカンキイロアザミウマは平年よりやや少ない（－）。 2）青色粘着トラップ調査では、ミナミキイロアザミウマ、ミカンキイロアザミウマともに平年並。（±） 3）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
ミカンキイロアザミウマ	少	並	
露地キュウリ・トマト・ナス			
アブラムシ類	少	少	1）巡回調査では、発生がトマト、ナスで平年より少なく(－)、キュウリで平年よりやや少ない(－)。 2）県予察ほ（平塚）の黄色水盤への飛来量は平年より少ない。（－） 3）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
オンシツコナジラミ	少	少	1）巡回調査では、発生がトマトで平年よりやや少なく（－）、キュウリで発生が平年より少ない（－）。 2）施設の巡回調査では、発生が見られず、トマトで平年より少なく（－）、キュウリで平年よりやや少ない。（－） 3）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
タバココナジラミ	少	少	1）巡回調査では、トマト、キュウリとも発生が見られず平年よりやや少ない。（－） 2）施設の巡回調査では、トマトで発生が平年並(±)、キュウリで発生が見られず平年よりやや少ない（－）。 3）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
ハモグリバエ類	少	少	1）巡回調査では、トマトで発生は見られず平年よりやや少なく（－）、キュウリで発生は見られず平年より少なく（－）、ナスで発生は平年よりやや少ない（－）。 2）気温、降水量とも平年並の予報。（±）

作物名 病害虫名	発生量 程度	発生量 平年比	予報の根拠
ネギ			
ネギアザミウマ	中	やや少	1）青色粘着トラップ調査では、発生量は平年より少ない。(－) 2）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
三浦半島地区野菜			
うどんこ病			1）巡回調査では、発生はスイカ、カボチャで平年並（±）、メロンでやや少ない（－）。 2）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
(スイカ)	少	並	
(メロン)	少	やや少	
(カボチャ)	中	並	
炭疽病 (スイカ)	少	並	1）巡回調査では、発生は見られず平年並。(±) 2）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
つる枯病 (スイカ、メロン)	少	やや多	1）巡回調査では、スイカ、メロンとも多い。（＋） 2）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
ハダニ類 (スイカ、メロン)	少	やや少	1）巡回調査では、発生はスイカ、メロンともやや少ない。（－） 2）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
アブラムシ類 (スイカ・カボチャ・メロン)	少	やや少	1）巡回調査では、発生はスイカ、メロン、カボチャで平年より少ない。（－） 2）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
アザミウマ類 (スイカ・メロン)	少	やや少	1）巡回調査では、発生はスイカ、メロンで平年より少ない。(－) 2）気温、降水量とも平年並の予報。（±）
露地野菜全般			
オオタバコガ	－	やや多	1）フェロモントラップ調査では、誘殺数は平年並の予報。（±） 2）県予察ほ（平塚）のフェロモントラップへの誘殺数は平年より多い。（＋） 3）気温、降水量とも平年並の予報。（±）

（注）「発生量」の表示…　**程度**：甚＞多＞中＞少＞無
平年比：多＞やや多＞並＞やや少＞少
「予報の根拠」……　**(＋)**：多発要因　**(－)**：少発要因

Ⅳ　６月の気象予報（気象庁　地球環境・海洋部５月２４日発表３か月予報）

〈天　　気〉

平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

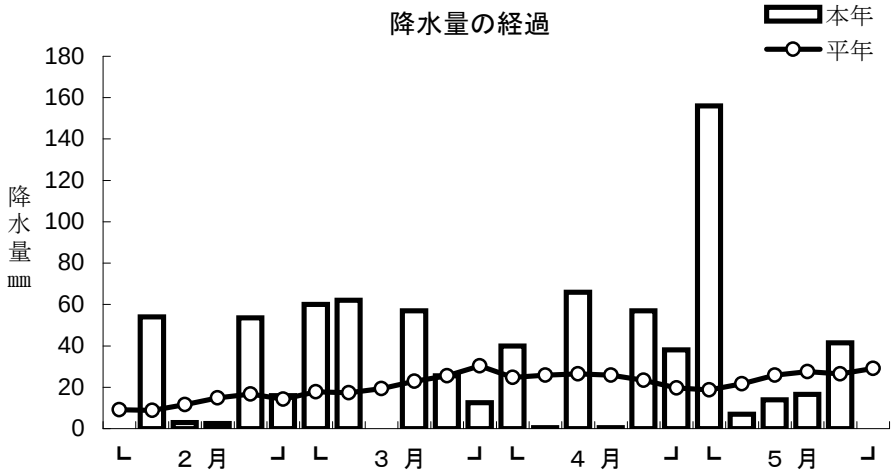
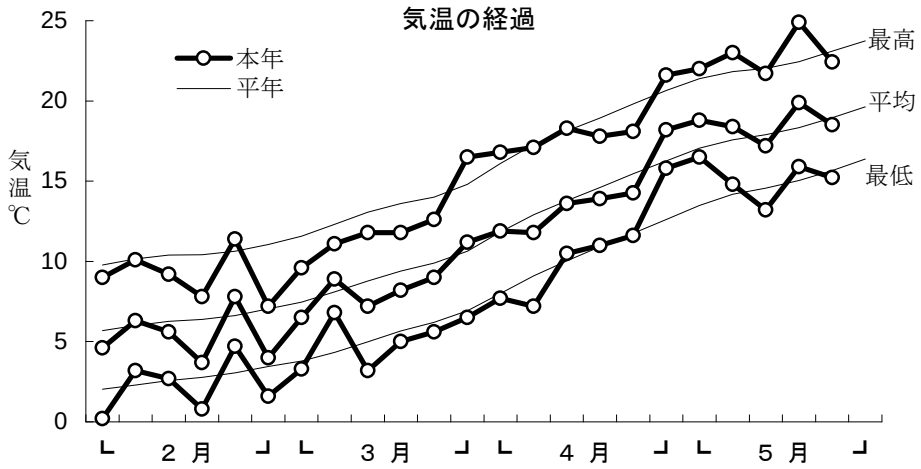
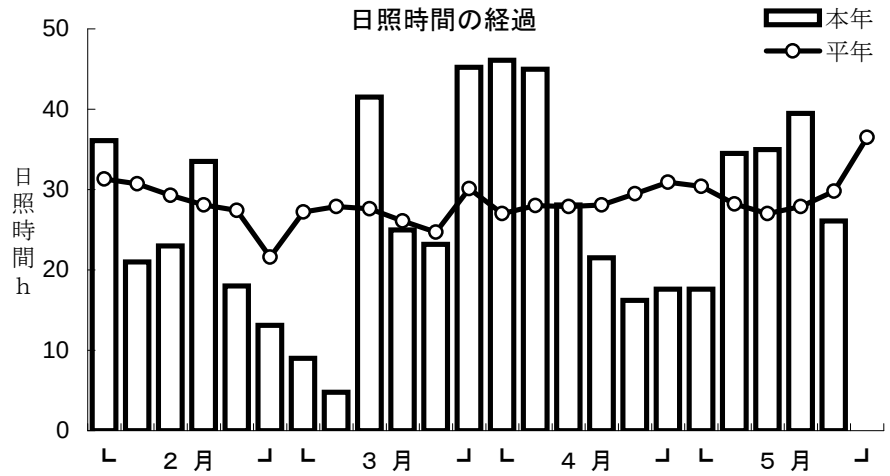
〈要素別予報〉

	低い（少ない）	平年並	高い（多い）
気　温	30%	40%	30%
降水量	30%	40%	30%

〈気象の経過〉［観測地　横浜地方気象台］

５月第５半旬まで

気温は、１，２，４半旬は平年より高く、３半旬は平年より低く、5半旬は平年並みだった。

降水量は、１，５半旬は平年より多く、２～４半旬は平年より少なかった。

日照時間は、１半旬は平年より少なく、２～４半旬は平年より多く、５半旬は平年並みだった。